

The background features a light blue world map with a dotted grid pattern. Overlaid on the map is a dark blue candlestick chart with several white circles marking specific data points. The chart lines are smooth and curved, suggesting a trend analysis.

# 経営近況報告会

2026年6月17日

SBIグローバルアセットマネジメント株式会社  
代表取締役社長 朝倉 智也

CHAPTER 01

# 業績は過去最高を更新し、成長は加速

17期連続増益、過去最高益を更新。株主還元も17期連続増配と着実に拡大

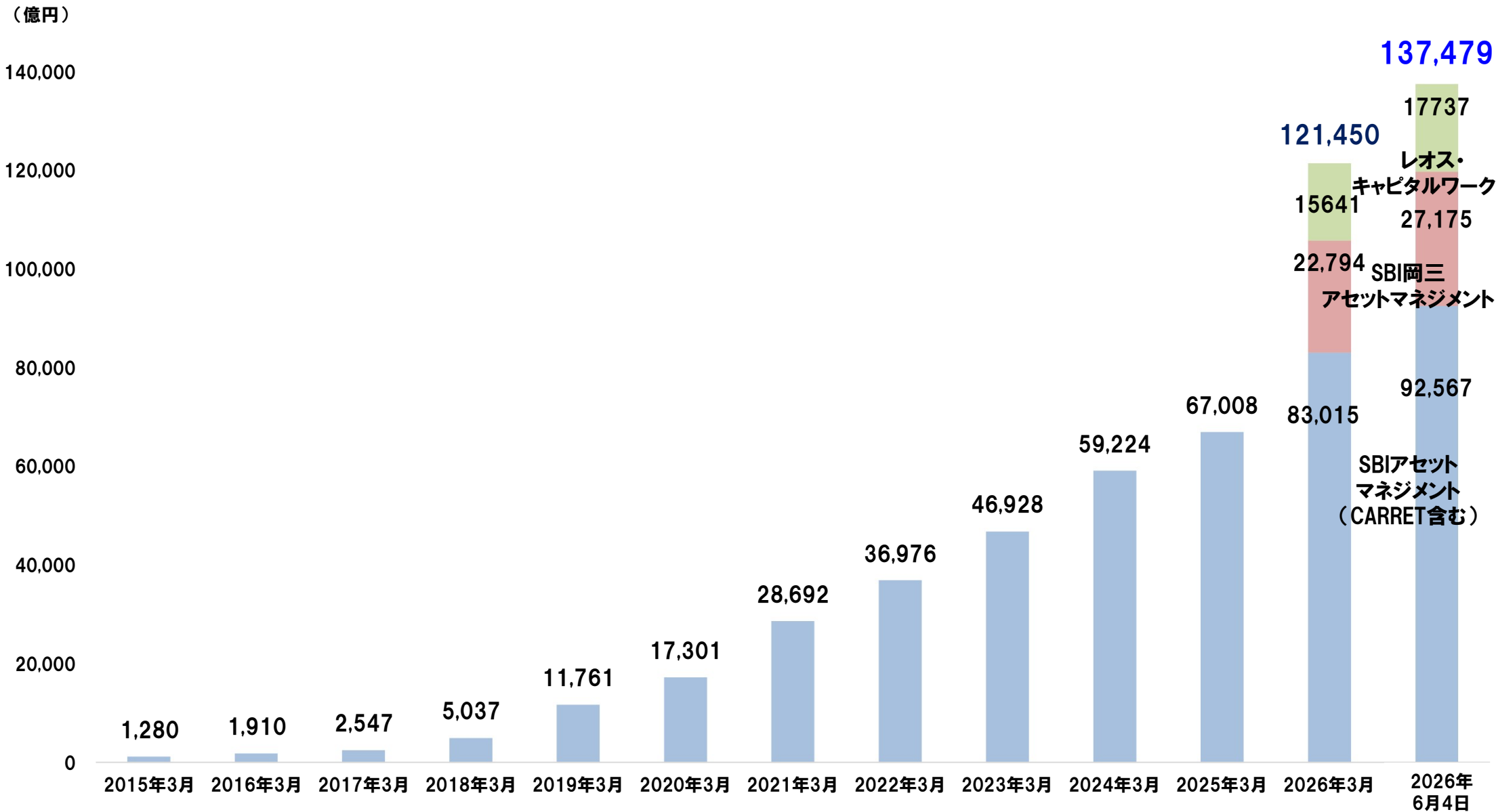
# 17期連続増益、過去最高益を更新

- ・売上高は14期連続の増収、7期連続で過去最高を更新
- ・経常利益は17期連続の増益、15期連続で過去最高益を更新

(単位:百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	前期比 増減
売上高	11,568	過去最高 27,860	2.41倍
営業利益	2,269	過去最高 5,155	2.27倍
経常利益	2,565	過去最高 5,590	2.18倍
当期利益	1,646	3,073	86.6%

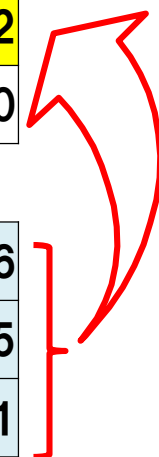
# 運用残高13兆円突破、新たな成長ステージへ



# 3社統合により国内トップクラスの運用グループへ

順位	運用会社	純資産残高(億円)
1	野村アセットマネジメント	780,122
2	三菱UFJアセットマネジメント	563,429
3	大和アセットマネジメント	404,265
4	アモーヴァアセットマネジメント	363,871
5	アセットマネジメントOne	219,675
6	三井住友DSアセットマネジメント	167,835
7	三井住友トラストアセットマネジメント	166,050
8	ブラックロック・ジャパン	152,031
9	SBIグローバルアセットマネジメント	112,342
10	インベスコアセットマネジメント	107,960

12	SBIアセットマネジメント	76,916
25	SBI岡三アセットマネジメント	21,605
29	レオス・キャピタルワークス	13,821



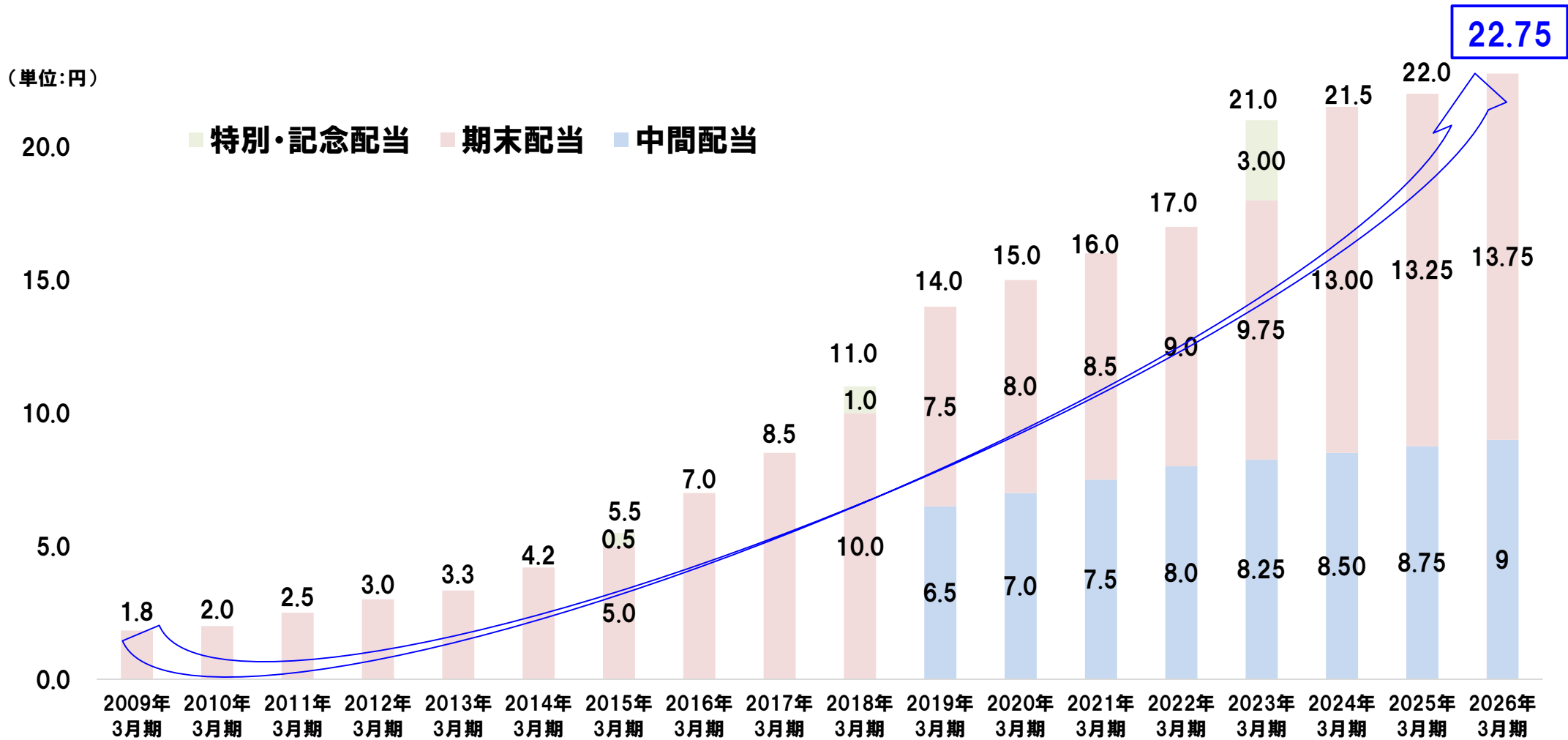
CHAPTER 02

# 株主還元を強化し、企業価値向上へ

17期連続増配と優待拡充で、株主還元を着実に拡大

# 17期連続の増益・増配

極めて稀有な成長と株主還元を実現



※ 2015年3月期の記念配当は、上場15周年記念配当  
 ※ 2018年3月期の記念配当は、設立20周年記念配当  
 ※ 2023年3月期の特別・記念配当は、ブランド売却による特別利益計上と設立25周年による記念配当

# 株主優待を拡充し、株主還元を一層強化

## 2026年3月期の株主優待

	XRP	ひふみクロスオーバーPro (投資信託)
1単元(100株)以上 5単元(500株)未満	2,500円相当	-
5単元(500株)以上 継続保有期間1年未満	10,000円相当	2,500円相当
5単元(500株)以上 継続保有期間1年以上	12,000円相当	2,500円相当

### <記念優待>

	XRP	アラプラス ゴールドEX
10単元以上(1,000株以上)	3,000円相当	定価 11,800円

CHAPTER 03

# 成長の質を高め、次のステージへ

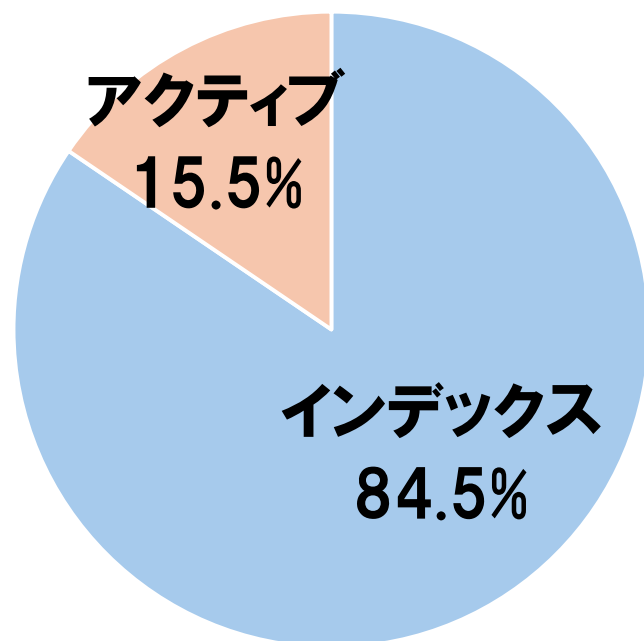
次世代運用のプラットフォームへ進化

# 3社の強みを結集し、成長モデルを進化

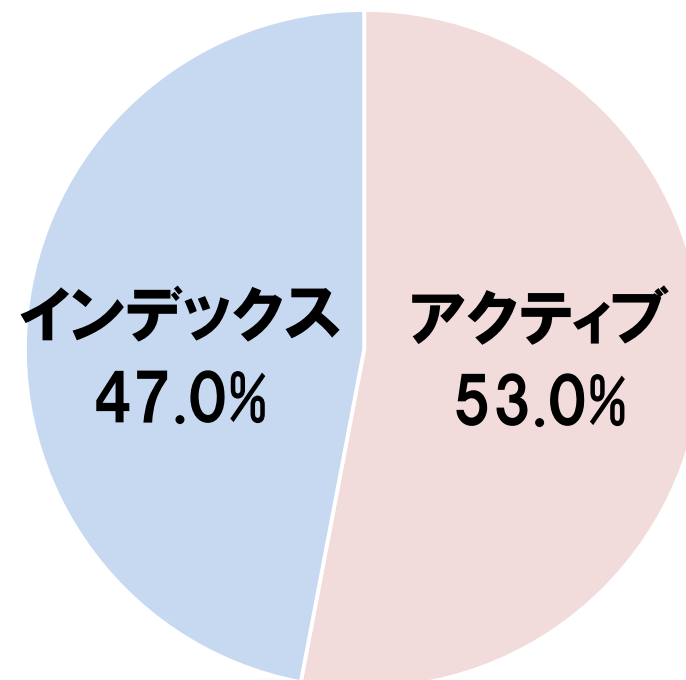
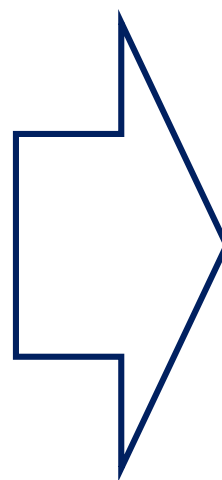
## 量から質へ 運用モデルの進化



インデックス中心の  
低コストモデル



インデックス & アクティブの最適バランス  
により、持続的な成長モデルを構築

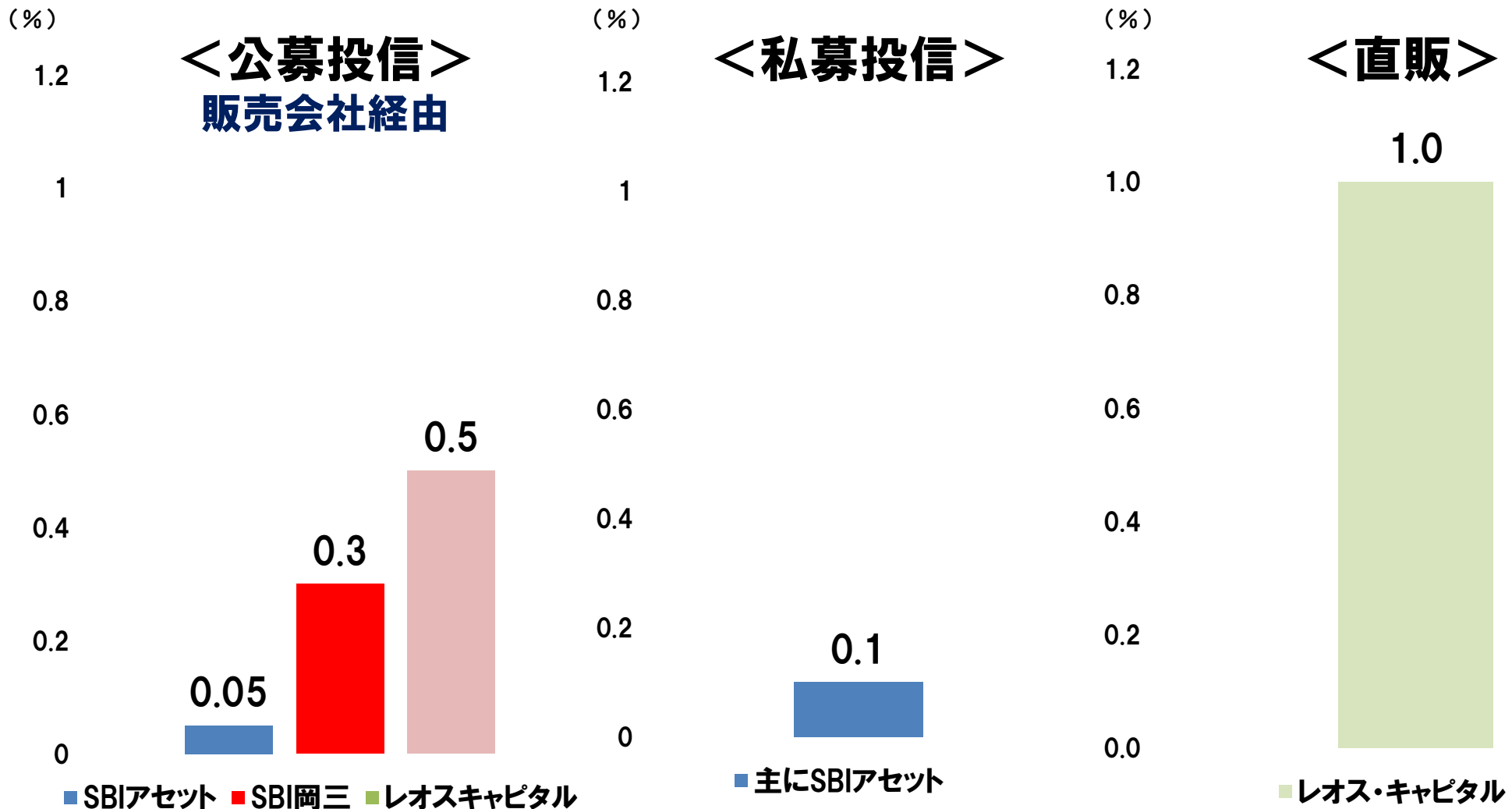


※2026年4月3日時点、対象は公募投信 (ETF・DC専用ファンドを除く)

# 3社の強みを活かし、収益性の向上へ

次の成長は「規模」から「収益性」へ

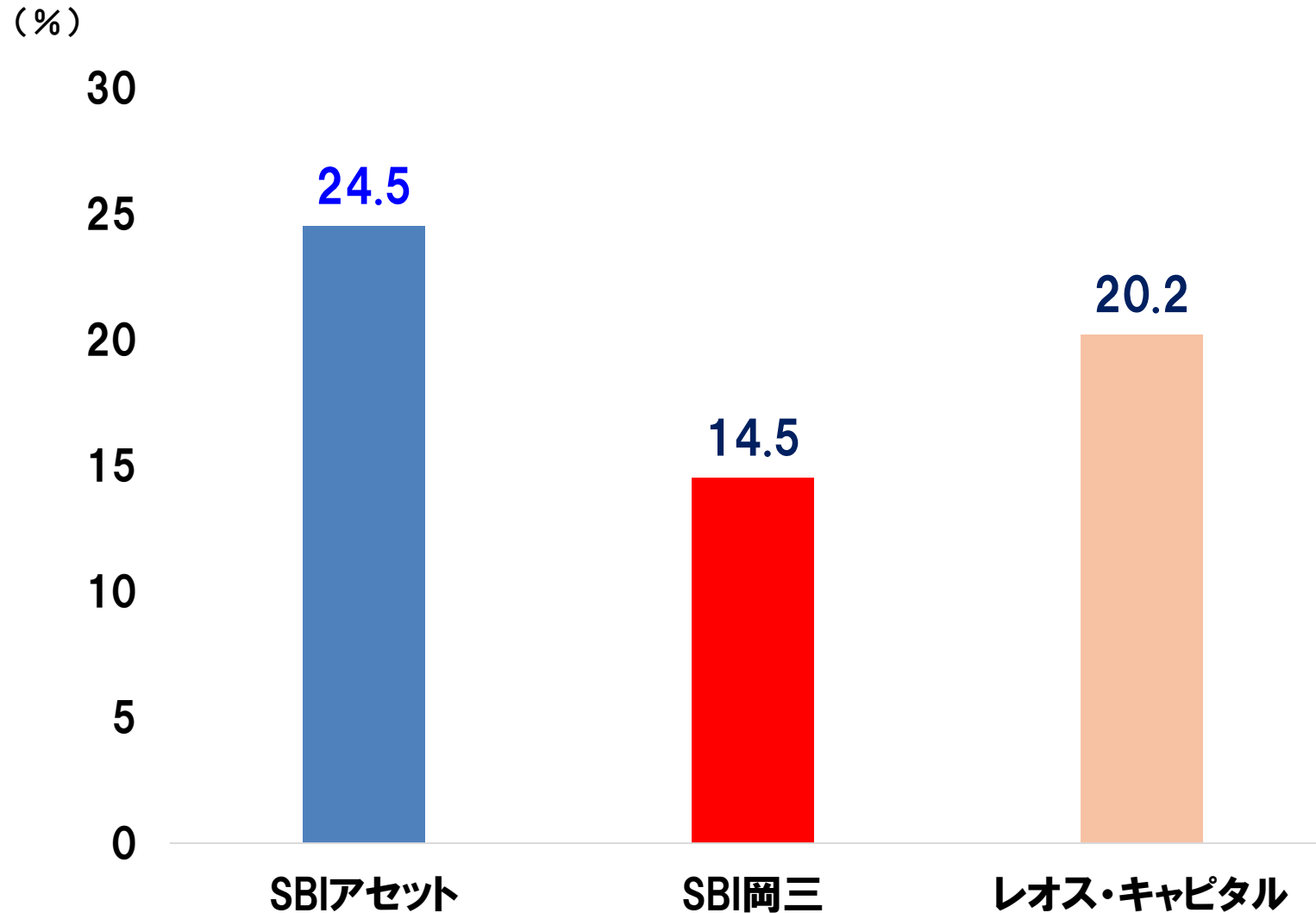
## 3社の運用残高に対する運用報酬率(信託報酬の運用部分)



\*2026年3月期の各社の数値から算出。私募投信の1割弱がSBI岡三。レオスの公募投信の数値は販社経由。

# 効率的な運営によりグループ全体で高い利益率を追求

## 3社の営業利益率（2026年3月期）



# 次の成長ドライバーは「オルタナティブ」と「デジタル」

「インデックス」から「アクティブ」、そして「オルタナティブ・デジタル」へ運用の“質”を高めることで持続的な企業価値向上を実現する

インデックス中心

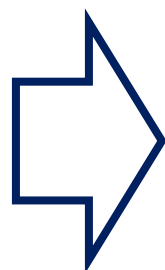
アクティブ運用

オルタナティブ・デジタル

規模の拡大

収益性の向上

高収益化



PIMCO



KKR



# 世界有数の運用会社との連携で成長領域を拡大



<伝統的資産:JV>

<オルタナティブ:JV>

インデックス

株式のアクティブ

オルタナティブ戦略

オルタナティブ  
資産

デジタル資産  
(暗号資産・  
RWA)



ALLIANCEBERNSTEIN®



KKR



債券のアクティブ

PIMCO

# 直販モデルの強化により収益性を飛躍的に向上

レオスの直販基盤を活用し、グループの運用商品を直接提供

グループ一体化を加速し、直販戦略を強化

- ・現在の直販口座数は約60,000、預かり資産残高は3,000億円超
- ・直販口座提供のファンドは、「株主優待」の付与も柔軟に対応可能

SBI Asset Management

SBI 岡三アセットマネジメント

良質な運用商品を提供

RHEOS CAPITAL WORKS

直販

社名変更によりグループ一体化を推進  
2026年12月1日  
レオス・キャピタルワークスから  
「SBI レオス・キャピタルワークス」へ

# 海外展開・M&Aを成長加速の中核戦略へ

世界の成長マネーを取り込み、運用資産残高の飛躍的拡大を目指す

## □ 世界の機関投資家向けビジネスを拡大

- ・政府系ファンド(SWF)、年金基金、機関投資家、ファミリーオフィス向けに高付加価値の私募ファンドを提供
- ・レオスは世界最大級のSWFであるノルウェー政府系年金基金から運用資金を受託
- ・SBIグループのネットワークを活用し、グローバル投資家基盤を拡大

## □ 日本株運用を世界へ輸出

- ・海外個人投資家向けに、日本株を投資対象とする投信・ETFを展開
- ・サウジアラビア、シンガポール、米国など有望市場で商品設定を推進

## □ M&Aによるグローバル運用プラットフォーム構築

- ・海外の有力運用会社の買収を通じて事業基盤を拡大
- ・伝統資産とオルタナティブ双方の運用力を強化
- ・スケールメリットとシナジー創出により収益力を向上

# 暗号資産ETFで新市場を開拓

国内上場ETFおよび公募投信の活用により  
暗号資産投資の裾野を拡大



EZBC Franklin Bitcoin ETF

EZPZ Franklin Crypto Index ETF

XRPZ Franklin XRP ETF

指数の構成暗号資産：Bitcoin / Ethereum /  
XRP / Solana / Dogecoin / Cardano / Stellar  
Lumens / Chainlink の 8資産

EZET Franklin Ethereum ETF



**2028年1月解禁に向けた商品・販売体制を整備  
解禁時期の前倒しも継続要望**

**「暗号資産ETF」設定と同時にETFに投資する「投資信託」も設定し、  
投資家の定時定額積み立て投資の活用を促す**

# オンチェーン資産運用を次の成長エンジンへ

SBIグループの総合金融力を活かし、運用商品の流通革命を実現

## <投資家メリット>

- 24時間365日取引
- 即時送金(JPYSC)
- ステーブルコインも対応
- DeFi活用による利回り向上



「SBI日本高配当株式ファンド」をオンチェーン化

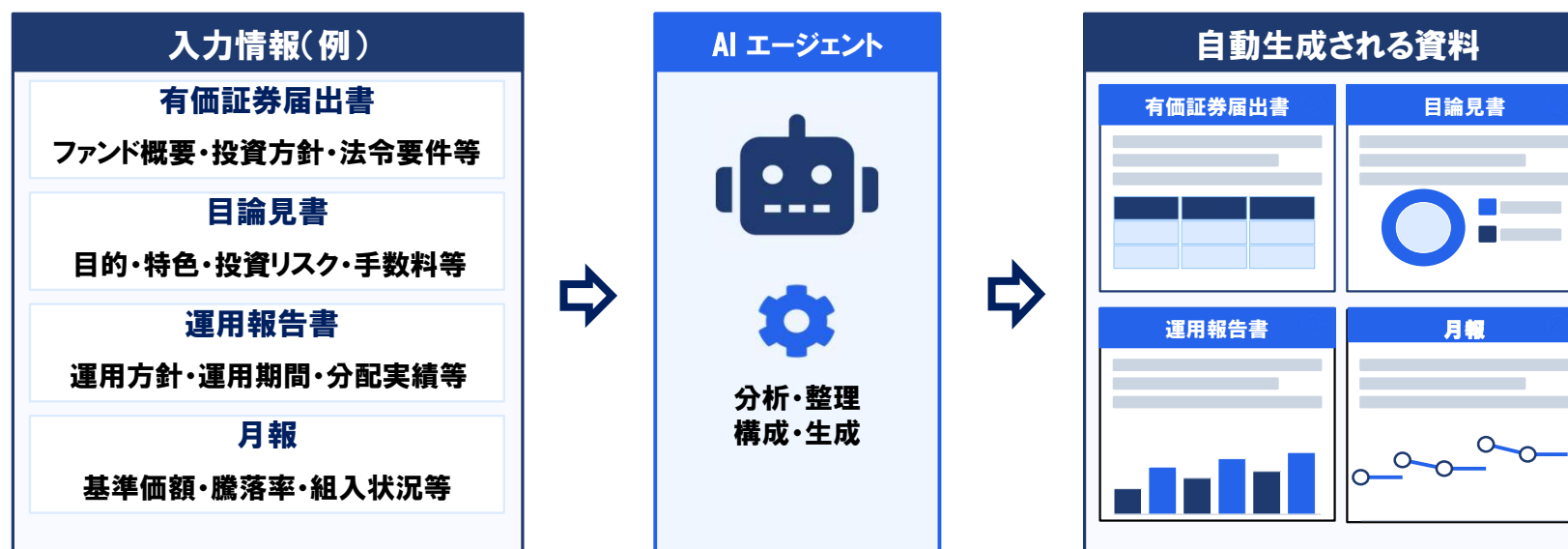


SBIの資本業務提携先の「DigiFT」でオンチェーン商品を上場・売買

# AI活用で生産性改革を加速



## AI戦略の最初のプロジェクト「AI Documentary Factory」として、 レポーティング業務自動化のAIエージェント開発に着手

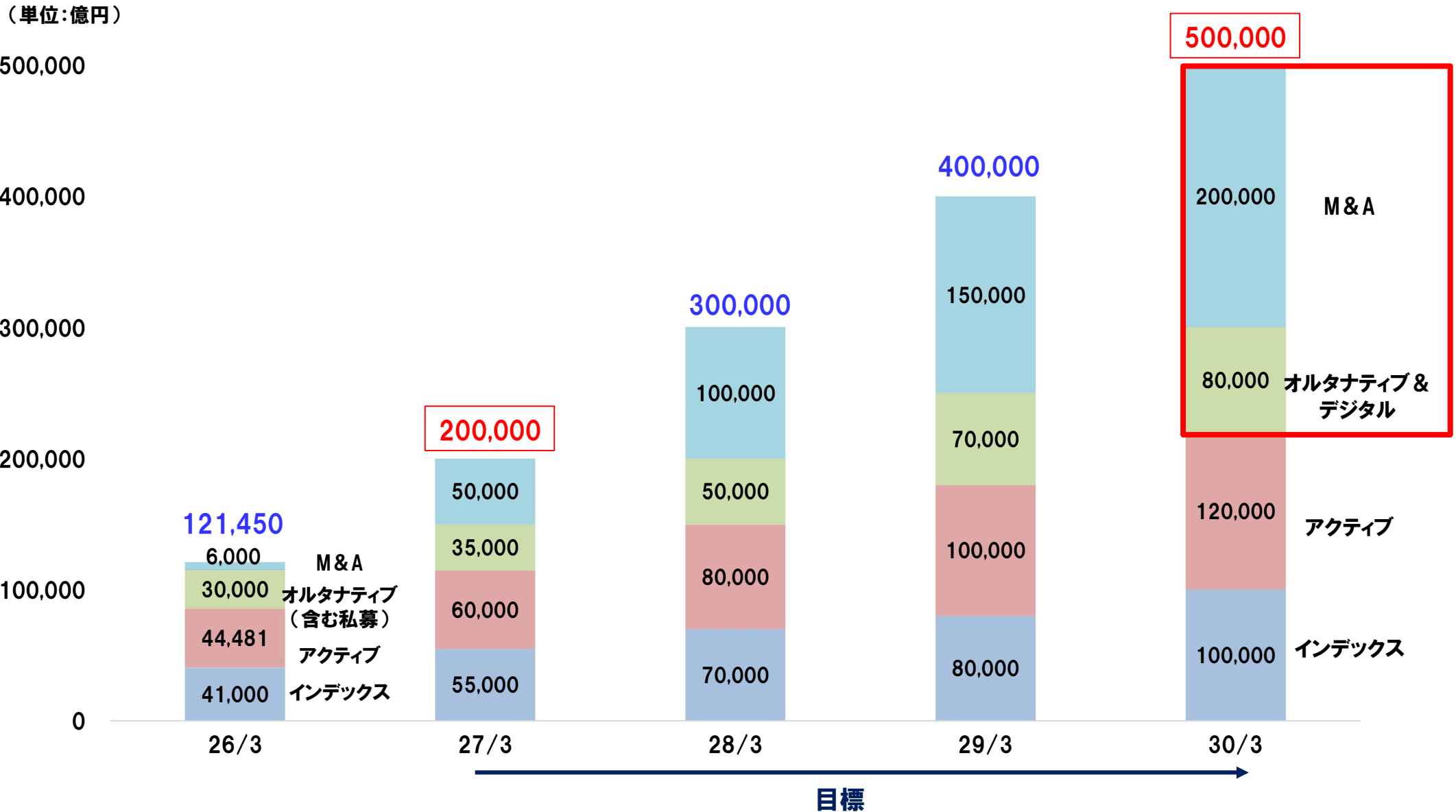


### <1年後の目標>

- ① 当該業務に従事する人員を6割削減
- ② 現在の外注業務にかかるコストを最終的にゼロにする

# 20兆円を突破し、50兆円へ — 成長は加速

## オルタナティブ・海外M&Aにより、高収益の運用残高を拡大

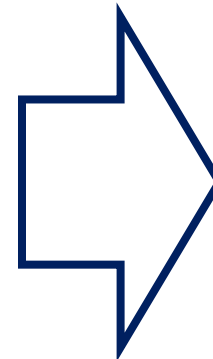


# 次の成長ステージへ

## 積み上げてきた利益成長が、将来の成長を裏付ける

### <市場が認識している実績>

- 17期連続増益・増配
- 運用残高13兆円突破
- SBI岡三・レオス子会社化



### <次の成長ドライバー>

#### 【収益性向上】

- 運用3社の利益率向上
- 直販モデルの強化
- AIによる効率化

#### 【高収益運用残高の拡大】

- オルタナティブ戦略
- デジタル資産(暗号資産ETF含む)
- 国内外M&A

(単位:百万円)

### 17期連続増益の経常利益の推移



# SBIGAM 2030ビジョン

## ～ 50兆円への成長ロードマップ ～

	<現在>	<2030ビジョン>
運用残高(兆円):	13	50
平均報酬率:	0.23%	約0.30%
経常利益(億円):	56	350 (6.3倍)
経常利益率:	18.7%	約25%
EPS(円):	28.3	150 (5.3倍)
1株当たり配当(円):	22.75	50～70

### ※2030年時点の当社想定に基づくイメージ

インデックス&アクティブから、オルタナティブ・デジタルを中核とする次世代運用プラットフォームへ

